

崎、宮崎といった全国からわざわざ駆けつけてくれました。久しぶりの再会に喜び合い、子連れでの参加もあり、学生時代とは違った面も見れてまた良いものでした。

12期生は、医学部の頃も本土出身者と沖縄出身者ともにお互いに仲が良く、各地の方言（東北弁、関西弁、宮崎弁、鹿児島弁など）がうちなぐちとクロスして飛び交う楽しい教室でした。あれから15年たったとは思えないくらい当時の教室での空気感のままで、それは驚くほどでした。それぞれの近況報告を聞くと、確かに皆それなりに医師として人間として経験を重ねてきていることがわかりました。ざっくばらんに昔話に花を咲かせたり近況報告に盛り上がりました。その後プールサイドで引き続き行われた2次会のバーベキューも20人が参加して沖縄の真夏の雰囲気の中、夜10時まで楽しみました。今回残念ながら参加で

きなかった皆さんも次回の同期会の際には是非ご参加ください。

また事務局の上原さんには準備から色々とお世話になりました。ありがとうございました。何かと至らぬ点があった幹事かと思いますがご報告とさせていただきます。



卒後10年目を迎えた17期生の集い

同期会幹事 仲村 秀太 (7期生)

(感染症・呼吸器・消化器内科学(第一内科))

17期生のみなさん、お元気ですか？ 皆さんにはご案内させていただきましたが、2013年7月14日に宜野湾市にあるラグナガーデンホテルにて、卒業以来初めてとなる琉球大学医学部医学科同窓会主催の17期生同窓会を開催いたしました。みなさん、それぞれ多忙な日々を過ごしておられることと思いますが当日は遠く青森から小倉和也さんも駆けつけてくれるなど県内外から17名の方に参加いただきました。

卒業から10年、世の中が目紛しく変化してきたのと同じように私たちも医療界の荒波に揉まれながら日々を重ねてきました。仕事上のキャリアアップだけでなく、結婚や出産、子育て、親の介護といったライフイベントも含め近況をざっくばらんに語り合えたと思います。

また、今回、同窓会のお手伝いをさせていただく中で当日残念ながら参加できなかった方々からも丁寧な返書を頂いたり、Facebook上で連絡を取り合ったりとみなさんとコミュニケーションすることができとても懐かしく、連帯感を感じることができました。みなさんそれぞれの地域で重要なポジションに就いていたり、海外で研鑽を積まれていたり生き生きとしたその活躍を感じることができました。

ふと、谷川俊太郎の「朝のリレー」を読み返し、卒業後、お互い遠く離れていても守るべき大事なもののために格闘しつつバトンを渡し続けているんじゃないかな？なんて少し洒落たことを思ったりしました。

医学科同窓会主催としては次回の公式同窓会は10年後になるはず？ そのときはほんの一時だけ、一人でも多くの17期生リレー走者が会場に集えたらなと思います。そのときまでお互いに元気で頑張っていきましょう！

